

北九州市公共事業評価に関する検討会議及び 市民意見を踏まえた市の対応方針

事業名	【事前評価２】 太刀浦第１コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業
-----	---------------------------------------

北九州市
令和８年２月

公共事業評価に関する検討会議及び市民意見を踏まえた市の対応方針
(対象事業：太刀浦第1コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業)

【対応方針】

計画どおり実施

【対応方針決定の理由】

本事業は、市民生活を支える重要な物流基盤である太刀浦第1コンテナターミナルに設置している4基のクレーンのうち、3基のクレーン（7号・8号・9号クレーン）の更新を行うものである。

太刀浦第1コンテナターミナルは市全体の約50%のコンテナを取り扱う重要な港湾施設であるが、対象のクレーンは設置後27年～29年を経過し(法定耐用年数17年)、老朽化が著しく、安全性の低下による事故や故障の増加が懸念される。また、近年はコンテナ船が大型化しているため、現状のクレーンでは十分に対応できないケースが増加しており、利用者からはクレーンの大型化の要望が上がっている。

本事業では、クレーンを更新し、利用者ニーズに対応した大型化等を実施することで、安全かつ安定した設備と安定した物流サービスを提供するとともに、物流機能の更なる強化やコンテナターミナルの利用促進を図ることを目的とする。加えて、地域企業の発展と新たな企業立地に繋げ、本市の産業・経済の発展や雇用の拡大を図る。

以上を踏まえ、本事業は、北九州市・新ビジョンが掲げる「稼げるまち」の実現に寄与するものであり、また、北九州港長期構想における「物流を強靱化し、産業をリードするみなと」に基づく取組みである。事業実施の意義及び必要性は非常に高いことから、計画どおり事業を実施することを対応方針として決定した。

公共事業評価に関する検討会議では、「本事業を計画どおり進めることについて意義は無い」とされ、事業実施にあたって留意すべき点が意見として挙げられた。

これらを受け、事業概要及び検討会議の意見を踏まえた市の対応方針（案）について市民意見を募集した結果、更新後のクレーン規格、事業費等に関する意見が寄せられた。なお、計画を修正する意見は無かった。

以上のことから、検討会議等で示された意見を踏まえ、計画のとおり事業を実施することとする。

公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応
(対象事業：太刀浦第1コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業)

市の対応方針（案）
計画どおり実施

	公共事業評価に関する 検討会議での意見	市の対応方針（案）
（１） 産業・経済の発展や雇用拡大に向けた取組みについて	本事業が地域企業の発展や新規企業立地に繋がるよう、部署を横断して全庁的に協力しながら取り組んでいただきたい。	市内関係部局と連携し、本事業が本市の更なる企業立地や産業振興に繋がるよう、取り組みに努めて参ります。
（２） 市民への説明について	本事業を進めるにあたり、安全かつ安定した設備の提供や物流機能の強化などの直接的な効果のみならず、地域企業の発展や新規企業立地による産業・経済の発展や雇用に繋がるという副次的な効果についても、広く市民に説明していただきたい。	本事業の内容や、事業の実施により地域の産業や経済の発展に繋がる効果についても、広く市民に対し周知に努めて参ります。
（３） 工事中のコンテナターミナルの機能維持について	ターミナルの機能が停止することがないよう現場での更新工事は慎重に行うとともに、更新工事によって一時的に荷役効率が低下する期間は可能な限り短くなるよう努めていただきたい。	既存クレーンの撤去時や新クレーン搬入時の安全管理はもとより、現場工事期間中における安全確保に努めて参ります。 また、工事の実施による荷役への影響が最小限となるよう、荷役事業者等と綿密に協議を行い、工程調整に努めて参ります。

提出された市民意見の概要及びこれに対する本市の考え方
(対象事業：太刀浦第1コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業)

1 意見募集期間

令和7年12月18日(木)から令和8年1月16日(金)まで

2 意見提出状況

(1) 提出者数：4名

電子メール	郵送	FAX	持参
3名		1名	

(2) 提出意見数：10件

3 提出された意見の概要及びこれに対する本市の考え方

事業の実施について：4件

番号	意見の概要	本市の考え方	事業への反映
1	船の大型化に対応したクレーンの更新は港の競争力を高め、地域経済にもいい影響を与えるものだと考える。	クレーンの大型化等を実施することで、港の機能強化・利用促進を図り、地域経済の発展に繋げて参ります。	—
2	更新事業の必要性は十分にあると感じるため賛同する。クレーン能力を上げるのも良いことであると思う。		—
3	老朽化した設備の計画的な更新は港で働く方々の安全確保だけでなく、設備トラブルによる作業停滞を防ぐ点でも重要な取り組みだと感じる。	利用者の方々が安全に港を利用できるようクレーンの更新を計画的に進め、設備故障のリスクの低減にも努めて参ります。	—
4	財源が地方債であり、大きいクレーンの更新は必要ない。	クレーンの更新は老朽化だけでなく、船の大型化に対応し、港の機能強化を図ることで地域経済の発展に繋がる重要な事業であると考えております。また、事業費はクレーンの使用料収入で賄うこととしており、十分な採算性を見込んでおります。	—

更新後のクレーン規格について：2件

番号	意見の概要	本市の考え方	事業への反映
1	過去には震災や強風等の自然災害によりクレーンが倒壊した話も耳にする。既存のクレーンはそれより前に建設されたものと思うので、耐震性能や風への強度等を見直しても良いと思う。	「クレーン等構造規格」は阪神淡路大震災後以降に国において適宜改正されており、本事業にて更新するクレーンは全て国の最新の基準を満たす仕様とします。	反映を予定している
2	同一メーカーのクレーンが揃うことで、点検や部品管理がしやすくなり、安定した運営に繋がるのではないかな。	効率的なクレーンの維持管理・運営のため、可能な限り部品の共通化を進めて参ります。	反映を予定している

事業費について：1件

番号	意見の概要	本市の考え方	事業への反映
1	昨今の経済状況からコストが増加する可能性はないか。計画した予算の範囲内で事業を進めていただきたい。	現時点で想定されるコスト上昇を踏まえて事業費を算出していますが、コスト縮減等、経済性に配慮しつつ事業を進めて参ります。	—

その他：3件

番号	意見の概要	本市の考え方	事業への反映
1	クレーンだけでなく、その他の関連施設やヤード拡張等、港湾施設も総合的に整備していただきたい。	太刀浦コンテナターミナルの機能強化に向けて、クレーンを始め、その他の関連施設等の整備も引き続き進めて参ります。	—
2	クレーンを長く安心して使うため、定期的な点検や整備の時間をしっかり確保し、将来を見据えた運用や維持管理の視点も含めて、総合的な観点から本事業が進められることを期待する。	クレーンを長く、安全に利用できるよう、定期点検やメンテナンス、計画的な修繕工事等を徹底し、効率的・効果的な運用や、適切な維持管理に努めて参ります。	—
3	同じ形のクレーンが並ぶことで港の景観が整い、港のイメージ向上やPR面での効果も期待できると思う。	本事業が港のイメージ向上に繋がるよう、広く市民に対して周知に努めて参ります。	—

4 公表文書の入手方法

上記の公表内容は、以下の方法で入手することができます。

(1) 閲覧または配布

場所：港湾空港局工事課（港湾空港局門司庁舎2階）

総務市民局広聴課（市役所本庁舎1階）

各区役所総務企画課及び出張所

期間：令和8年2月16日（月）から令和8年5月15日（金）

※土・日曜日、祝日を除く。時間は9時から17時まで。

(2) 北九州市ホームページ

URL：https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/357_00008.html

期間：令和8年2月16日（月）から令和9年3月31日（水）まで



5 問い合わせ先

北九州市港湾空港局工事課 担当：雪竹、武見

〒801-8555 北九州市門司区西海岸1丁目2番7号

TEL 093-321-5901、FAX 093-321-5915

電子メールアドレス (kowan-koji@city.kitakyushu.lg.jp)